試聴会・訪問記収載

オーディオセッション in Osaka 2015 報告(2015.11.7)

大阪ハイエンドオーディオショウは11月6日から8日まで心斎橋ハートンホテルで、オーディオセッション in Osaka 2015は11月7日から8日まで南船場ハートンホテルで開催されました。大阪ハイエンドオーディオショウには11月6日に、オーディオセッションには11月7日に行ってきました。以下はオーディオセッション in Osaka 2015の報告です。

http://www.axiss.co.jp/OHAS.html

http://www.denden-town.or.jp/nasa/session/index.html





例年、完成度の高い新製品で良い音を聴かせてくれるフェーズメーションの部屋では、新しいカートリッジの PP-2000 とフォノイコ EA-500 のデモがあり、非常に魅力的な音を出していました。フォノイコはバランス駆動で、そうすることの意味や入力トランスを加えていること、電源に余裕を持たせている意味など、詳しい説明を聴くことができました。





カートリッジ関係では、フェーズメーション以外にも、ヒノエンタープライズの ZYX シリーズ、イケダの IKEDA シリーズ、DS オーディオの光カートリッジ、前日のハイエンドショウでのユキムの Benz Micro など魅力的なものが出ていましたが、じっくり聴く機会がありませんでした。

興味を惹かれたのは、バッファロの DELA のデモで DELA の特徴や使い方の詳しい解説 がありました。注目すべきはリモコン用シンプルルーターセット WMR-RM433W/A の開発で、LAN のルーターの代わりになる簡易型のルーターアダプターみたいなものです。 DELA の N1 に UEB ケーブルと LAN ケーブルで繋ぐと タブレットから WiHi 接続ができるようになるので面倒な LAN のルーターの設定が不要になるというものです。



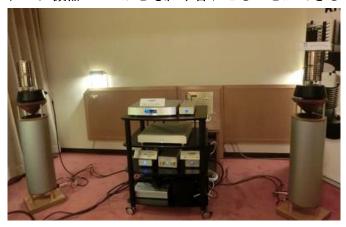
新顔で変ったところでは、Falcon Lab.の Falcon シリーズの無指向性スピーカーで最上位機種では、ツイーター、コンプレッションドライバーおよびウーファーが縦方向にセットされ、円錐形の反射板から全方位に音が放射されるというものです。予想したより定位の崩れもなく、独特の音場感を出していました。





もう一つの無指向性スピーカーはブライトーンのもので HitKit のスーパーツイーターと組みあわせることを前提に作られたものです。ブライトーンのネットワークプレ

イヤーと Lumin の NAS との組み合わせで音を聴くことができました。<u>河口無線の</u> <u>試聴会</u>では不具合があって聴けませんでしたが、ブライトーンのネットワークプレイ ヤーBT-NMP-01 はコンパクトながらクオリティの高い音を聴かせてくれました。IO データ機器の NAS とも組み合わせることができるということでした。



新生なったテクニクスは広いスペースで意欲的な展示を行っていましたが、じっくり聴く時間がなく、新技術がどのように音に具現化されるのかまで把握できませんでした。期待されたアナログプレイヤーはモックアップだけの展示でした。







その他、駆け足で次のようなブースを回りました。 コンパック

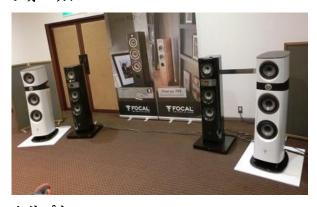


TEAC

ネットワークプレイヤーNT-503 のデモが行われていました。



フォーカル



クリプトン



ヒノエンタープライズ

城下工業の SWD シリーズの展示がありました。参考出品として、SWD-DA10 の上位になる SWD-DA20 が出る予定で、11.2MHzDSD までの対応が図られるとのことです。例年意表をつくインフラノイズのデモがなかったのは寂しく感じました。



ESOTERIC

ESOTERIC はタンノイの Kingdom Royal Black Carbon で Rb クロックの効果をデモしていましたが、特に印象に残りませんでした。



DENON

Dali のスピーカーでデモが行われていました。



大阪ハイエンドオーディオショウとオーディオセッション in Osaka 2015 を 2 日間 で見聞したかぎりでは、やはりアナログの復権とネットワークオーディオのいろいろ な新しい提案が目につきました。

Sopranino の導入で資金を費やしたので、すぐには手をつけるわけにはいきませんが、 次の目標はアナログの充実とネットワークオーディオの導入と思っております。 アナログでは、フェーズメーション、ZYX、Benz Micro あたりからカートリッジの 候補を絞り込んでいくことになりそうですし、ネットワークオーディオは新方式の見 極めと 11.MHz 以上への対応の動向を見守ることになりそうです。

以上